

## 京都マラソン 2025 大会の総括 及び 2026 大会の概要について(報告)

### 【 2025 大会の総括 】

#### 1 開催結果の概要

	2025 大会	前回 (2024 大会)
日 時	令和7年2月16日(日) ※2月第3日曜日 ( 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了 )	令和6年2月18日(日) ※同左
天 気	9時(スタート会場) 晴、9.0℃、湿度71% 15時(フィニッシュ会場) 曇、14.6℃、湿度53%	曇 13.2℃、69% 雨 18.8℃、58%
出走者	マラソン 16,250人 ペア駅伝 516人 } 計 16,774人 車いす競技 8人 } (完走者 15,624人、完走率 93.1%) 【参考：男女比 男子 80.7% 女子 19.3%】	16,363人 (完走者:15,114人) (完走率:92.4%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 たけびしスタジアム京都(西京極総合運動公園内) ～ 平安神宮前(42.195km) (日本陸上競技連盟、世界陸上競技連盟及び 国際マラソン・ロードレース協会公認) 2 車いす競技 たけびしスタジアム京都(西京極総合運動公園内) ～ 嵐山(6.1km)	同左
スタッフ数	約 13,000 人	約 13,300 人
応援人数	約 397,200 人	約 387,000 人
おこしやす広場 入場者数	約 24,800 人	約 24,800 人

#### 2 各取組の概要及び実施結果

##### (1) 競技運営

より安心・安全かつ円滑な競技運営に向け、各種対策を着実に実施

取組	概要・実施結果
ア 走路対策	・ 積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備
イ ランナー対策	・ 雨天・防寒対策として、簡易ポンチョを配布 ・ ランナーの防寒衣類をスタート後に回収。リユース・リサイクルへ。 ※950kg 回収 (前回 690 kg)

ウ 医療救護対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RED SEAT アプリの導入【新規】  <ul style="list-style-type: none"> <li>※救護対象者の位置情報を医療救護担当者と共有するもの。</li> </ul> </li> <li>・ 京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築  <ul style="list-style-type: none"> <li>※AED136 台を配備</li> </ul> </li> <li>・ AED 配備施設（コース沿道）に協力依頼</li> <li>・ 心肺蘇生時の対応を学ぶ「ファーストエイド講習」を実施</li> <li>・ 「ファーストエイドサポーター」を募集  <ul style="list-style-type: none"> <li>※対象 救命講習を受けたランナー・ボランティア</li> <li>※登録 15 人（前回 22 人）</li> </ul> </li> <li>・ 緊急時の救護応急拠点となる「高度救急救護車」等を配備</li> <li>・ 各救護所に多言語指差しボード（各症状等を図示）を配備</li> <li>・ 連絡手段として Zoom を使用  <ul style="list-style-type: none"> <li>※救護所、コース沿道の待機救護サポーター、移動救護サポーター、フィニッシュ救護サポーター間</li> </ul> </li> <li>・ 救護件数 308 件（前回 408 件）、救急搬送 7 件（前回 8 件）  <ul style="list-style-type: none"> <li>※AED 使用 0 件</li> </ul> </li> </ul>
エ ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人ボランティアリーダーの配置  <ul style="list-style-type: none"> <li>※目的：ボランティアの人材育成と裾野拡大</li> <li>※講習会参加者数 14 人（前回 20 人）</li> </ul> </li> <li>・ 「ファミリーボランティア」を募集、スタート会場、給水所へ配置  <ul style="list-style-type: none"> <li>※目的：スポーツへの関心、支え合う精神の育成</li> <li>※対象：小学校 5 年生～中学生 1～2 人につき、大人 1 人の組合せ</li> <li>※81 人参加（前回 49 人）</li> </ul> </li> </ul>

## (2) 交通総量抑制対策等

- ・ 大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、以下の周知を徹底。
- ・ 緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行に努め、大会起因の大規模交通渋滞は未発生。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な広報媒体を活用した周知            大会ホームページ、市民しんぶん、チラシ、ポスター、歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告、各種デジタルサイネージ、バス停大型広告等</li> <li>・ 広域迂回・直近誘導対策等を実施</li> </ul>
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市バス無料乗車券（※）の配布、路線バス利用促進の広報  <ul style="list-style-type: none"> <li>※14,081 枚の利用（前回 13,363 枚）</li> </ul> </li> <li>・ 無料シャトルタクシーを運行（於：閉塞地）  <ul style="list-style-type: none"> <li>※7 路線で実施、965 人が利用（前回 910 人）</li> </ul> </li> </ul>

ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府警察・消防局等と連携したランナーストップ体制を配備 ※ランナーストップの実施なし</li> <li>・ 大会本部、消防指令センター、警察本部間の専用回線の設置及び人員配置等により、緊急車両通行時の連絡体制を確立</li> </ul>
----------	--

### (3) 沿道住民合意形成

- ・ コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布
- ・ 「横断対策島方式」の設置等によるコース横断対策
- ・ 速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿道住民・事業者（128,000世帯）への交通規制マップ等の配布</li> <li>・ 市民しんぶん（挟み込み）や各施設等へのチラシ配布による周知</li> </ul>
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「横断対策島方式」の設置（13箇所）</li> <li>・ ランナーの切れ目でのコース横断の実施</li> </ul>
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速やかな交通規制解除のための時間制限関門の設置（8箇所）</li> <li>・ 大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表</li> <li>・ 関門閉鎖後の走路上のランナー等を速やかに歩道へ誘導するため、競技役員による指導の強化及び多言語対応のプラカード等を配備</li> </ul>

### (4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

- ・ 以下の取組により、大会のメインコンセプトの具現化に努めた。
- ・ 地域各団体・市民の御協力で、京都ならではの温かいおもてなしや応援を展開

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(7) 「DO YOU KYOTO? マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスリートビブス引換証の電子化【新規】</li> <li>・ 「Vegan Friendly（ビーガンフレンドリー）」の紹介【新規】 ※Vegan Friendly 完全菜食主義者の歓迎（多様性を認め合う社会の構築）</li> <li>・ 「ノーマイカーデー」の設定（大会当日）</li> <li>・ 燃料電池自動車の導入（大会車両の一部）</li> <li>・ リユースごみ箱（400個）の活用</li> <li>・ 給水・給食残物品のフードバンクへの提供</li> <li>・ リサイクル金メダル（※）の優勝者への贈呈 ※使用済小型家電から抽出した金を活用したもの。</li> <li>・ ボランティア・スタッフウェアを回収、クリーニング、再利用 ※6,291着回収（前回6,168着）</li> <li>・ 看板等使用資材の再利用</li> <li>・ 給水の紙コップ削減のためのオリジナルマイカップの導入 ※2,515個販売（前回3,081個）</li> <li>・ 参加案内・完走証のWEB化</li> <li>・ おこしやす広場にて、使用済み衣服回収を実施 ※104.35kg（417着分）（前回63.3kg）</li> <li>・ おこしやす広場、おつかれさま広場で生じた生ごみの飼料化</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>※約 70kg (前回約 50 kg)</li> <li>・ エコ素材の手袋の作成 (ハイタッチゾーンで配布)</li> </ul>
(イ) 「みんなが主役」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「京都マラソンアプリ」の導入【新規】</li> <li>・ WEBコンテンツ 「沿道探検隊」(※)、「京都マラソンを支えていただいている方々」の定期配信【新規】 <ul style="list-style-type: none"> <li>※コース沿道の有名スポットを紹介する企画</li> </ul> </li> <li>・ オンラインマラソン、ランニング教室を通じた裾野の拡大</li> <li>・ 団体ボランティアにおける団体名記載の腕章着用の実施</li> <li>・ ハイタッチゾーンの設定、オフィシャルグッズの EC サイト販売、商店街・店舗での盛り上げ企画の実施 (14 商店街)</li> <li>・ ゼスト御池でのオフィシャルグッズ販売 (大会当日のみ)</li> </ul>
イ ランナーサービス	
(フ) エントリー・ランナー受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと納税枠 (出走権) への追加特典付与【充実】 <ul style="list-style-type: none"> <li>※フィニッシュ後の特別更衣室等のサービスを付与</li> </ul> </li> <li>・ 参加料を返礼品とするふるさと納税の創設【新規】</li> <li>・ 参加賞 (ネックゲイター) のオプション化による多様なランナーニーズへの対応【新規】</li> <li>・ 各募集枠の設定 (ボランティア経験者枠、サブ 3.5・サブ 4 応援枠、京都市民枠、ふるさと納税枠)</li> </ul>
(イ) 多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要な案内看板の多言語表示 (日本語・英語・繁体字・簡体字)</li> <li>・ 大型映像装置 (たけびしスタジアム京都) での多言語案内及び手話通訳表示</li> </ul>
(ロ) スタート前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市バス運行 (京都駅→スタート会場) ※32 台</li> </ul>
(エ) フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ポカリスエット」、「京都米おにぎり」、「茶の菓」、「ボディメンテゼリー【新規】」を全ランナーに提供</li> <li>・ ランナー参加案内で銭湯を紹介</li> <li>・ シャトルバス運行 (フィニッシュ会場→烏丸御池駅) ※83 台</li> </ul>
(オ) 京都ならではのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外ランナー参加記念品の提供 (「オリジナル風呂敷」)【新規】</li> <li>・ 給食 <ul style="list-style-type: none"> <li>「京ばあむほうじ茶味 (株式会社美十)」【新規】</li> <li>「つじりの里 (祇園辻利)」【新規】</li> </ul> </li> <li>・ 伝統的な技術、技法を活かしたメダルリボン等の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>上位入賞者 (1 位～3 位) メダルリボン (京くみひも (一般男子・車いす)、京友禅 (一般女子) で製作)</li> <li>完走メダルのリボン (京友禅柄で製作)</li> <li>ペア駅伝のタスキ (西陣織で製作)</li> </ul> </li> <li>・ コース周辺の観光名所案内サインを設置</li> </ul>
(カ) 表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民ランナー賞「京 (みやこ) トップ 8 (エイト)」を設定</li> <li>・ 特別記録証の発行などのランナーサービスを提供する「マラソンチャレンジカップ (MCC)」に参加</li> </ul>
(キ) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 時間ペースランナーを創設【新規】</li> </ul>

ウ 応援・大会盛り上げ	
(7) 市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿道盛り上げ隊（13箇所40団体）、市内14商店街による沿道応援</li> <li>・ 車いす競技フィニッシュ会場におけるおもてなし（東嵐会）</li> <li>・ フィニッシュ会場に地元による応援者向け飲食ブースの設置</li> <li>・ ランナーの位置を地図上に表示するアプリ「応援navi」を導入</li> <li>・ ハイタッチゾーンの設置（糀原堤、北大路橋西詰南）</li> </ul>
(イ) おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統工芸の職人による実演・体験を実施 ※「公益財団法人京都伝統産業交流センター」と連携</li> <li>・ 地元店等による飲食屋台、裏千家によるお茶席等京都ならではのおもてなしを実施</li> </ul>
(ロ) 応援大使・ゲストランナー等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西脇隆俊京都府知事をはじめとする総勢41名がDMHC（ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー）チャリティーランナーとして出走。（完走者：39名）おこしやす広場での募金実施【新規】</li> <li>・ 島袋勉氏がペア駅伝出走</li> <li>・ 原邦夫氏がフルマラソン出走</li> <li>・ 特別ゲストランナーとして福士加代子氏がペア駅伝出走</li> <li>・ スタートセレモニー及びフィニッシュ会場での盛り上げ、沿道での応援</li> </ul>

#### (5) 広報・放送実績

取組	概要・実施結果
ア 大会前	
(ア) 市民しんぶん 区版（1/15号） 全市版（2/1号）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通規制時間、路線バス・無料シャトルタクシー運行情報</li> <li>・ 応援大使・本田望結氏メッセージ 等</li> </ul>
(イ) 一般紙 （京都新聞）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/24（土）～ ランナー募集（Web）</li> <li>・ 9/3（火）～ ボランティア募集（Web）</li> <li>・ 2/13（木） 直前特集</li> <li>・ 2/15（土） 交通規制等周知</li> <li>・ 2/16（日） 開催周知</li> </ul>
(ロ) ラジオ （α-STATION）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通規制告知スポットCM（1/30（木）～2/16（日））</li> <li>・ カウントダウン告知放送（1/30（木）～2/15（土））</li> <li>・ 2/15（土）14:00～19:00 公開生放送（@おこしやす広場）</li> </ul>
イ 大会当日（2/16（日））	
(ア) テレビ （KBS 京都）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8:30～ 9:25 スタートの様子（生中継）</li> <li>・ 12:30～13:25 フィニッシュの様子（生中継）</li> <li>・ 21:00～21:55 大会ダイジェスト</li> </ul>
(イ) ラジオ （α-STATION）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会当日午前5時に予定どおり大会を開催する旨を放送</li> </ul>

### 3 事業決算・経済効果等

#### (1) 事業決算

##### 【収入の部】

- ① 企業等に積極的に働き掛けたものの、既存スポンサーの条件変更等により「協賛金収入」は前回大会に比べ減少。

※協賛金収入：2024 大会 215 百万円 ⇒ 2025 大会 205 百万円

- ② 海外ランナー参加料の値上げ等により、「参加料収入」が前回大会に比べ増加。

※参加料収入：2024 大会 331 百万円 ⇒ 2025 大会 347 百万円

- ③ 収支改善に取り組んだことで、京都市からの「負担金収入」は前回大会に比べ減少。

※負担金収入：2024 大会 145 百万円 ⇒ 2025 大会 123 百万円

また、ランナー等から出走権獲得等を目的に本市に寄付いただいた「ふるさと納税」の残高（スポーツ振興基金積立）を活用したことで、本市の一般財源負担なし。

(2025 大会)

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
負担金収入	162,000	123,122	△38,878	・京都市からの負担金の減 (財源の内訳) toto 助成金 12,000 スポーツ振興基金 111,122
協賛金収入	203,000	205,215	2,215	
参加料収入	332,000	347,156	15,156	
諸収入	28,000	34,384	6,384	オリジナルグッズ販売代金、出展料等
合計	725,000	709,877	△15,123	

##### 【支出の部】

物価、人件費の高騰が続く中、運営方法の見直しによる大会運営費の抑制など諸経費の削減に最大限努めた結果、支出総額が前回大会比で減少。

※大会運営費：2024 大会 334 百万円⇒2025 大会 311 百万円

※支出総額：2024 大会 719 百万円⇒2025 大会 709 百万円

(2025 大会)

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
大会運営費	324,000	310,983	△13,017	・運営方法の見直し等による経費削減
安全対策費	240,000	234,986	△5,014	・警備員の配置等の見直し
広報・イベント 関係費	85,000	87,239	2,239	・京都マラソンアプリの開発など
エントリー ・記録関係費	56,000	54,025	△1,975	・アスリートビブス引換証の電子化
実行委員会 運営費	20,000	22,644	2,644	
合計	725,000	709,877	△15,123	

※各区分において端数処理を行っているため、決算額の合計と合わない場合がある。

(2) 経済効果等

- ・京都市内における経済波及効果は、推計で総額約 57 億 6,800 万円（前回比 6 億 6,300 万円増）となった。
- ※開催事業費（約 7 億 987 万円）の約 8.1 倍
- ・市税増収効果は、推計で約 1 億 5,300 万円となった。

【経済波及効果の推計内訳】

■直接効果（約41億5,400万円）

- 投資的支出 約 6億7,900万円（開催事業費のうち市内への投資額）
- 消費支出 約34億7,500万円（ランナー・同伴者、沿道応援者、ボランティア等が使った宿泊費・食事代・買物代等）

+

■間接効果（約16億1,400万円）

直接効果により生産が増加した産業において、需要増加を満たすために発生した新たな生産活動による効果を算定したもの

（ランナー・同伴者等の京都市内での飲食や土産物の購入による関連産業における生産の増加額、飲食料品や土産物の生産・販売増加等による関連産業の就業者の消費支出増加に伴う新たな生産の増加額等）

↓

**総額 約57億6,800万円**

【参考】経済効果等の推移（※第 10 回、第 11 回大会はオンライン大会のため推計なし）

	経済波及効果	市税増収効果
第 1 回大会（2012 年）	40 億 8,300 万円	1 億 100 万円
第 2 回大会（2013 年）	35 億 4,600 万円	8,700 万円
第 3 回大会（2014 年）	41 億 4,400 万円	9,800 万円
第 4 回大会（2015 年）	45 億 9,400 万円	9,900 万円
第 5 回大会（2016 年）	46 億 500 万円	1 億 200 万円
第 6 回大会（2017 年）	49 億 100 万円	1 億 900 万円
第 7 回大会（2018 年）	49 億 9,000 万円	1 億 1,800 万円
第 8 回大会（2019 年）	51 億 5,900 万円	1 億 2,000 万円
第 9 回大会（2020 年）	42 億 7,600 万円	1 億円
第 12 回大会（2023 年）	43 億 8,000 万円	1 億 2,000 万円
第 13 回大会（2024 年）	51 億 500 万円	1 億 4,600 万円
第 14 回大会（2025 年）	57 億 6,800 万円	1 億 5,300 万円

## 4 京都マラソン 2025 おんらいん

(1) 日程

令和6年10月19日(土)～11月17日(日)

(2) 内容

「いつでも」「どこでも」「自分のペースで」「好きなだけ」走ることができるオンラインマラソンを実施することで、ランニング愛好者の裾野拡大を図るとともに、日頃のランニング活動のモチベーション向上に寄与することを目的として実施した。

今回は設定距離を設けず、「累積走行距離チャレンジ」として実施。

(3) 参加状況

【人数】

申込者数	参加者数
1,058名	1,051名

※(全体)の近畿35.8%のうち、京都府(京都市含む)16.9%、京都市14.1%

【男女比】

男性	女性
57.3%	42.7%

## 5 京都マラソン関連イベント

(1) 第一生命女子陸上競技部元選手によるランニング教室(主催:第一生命保険株式会社)

オフィシャルパートナーである主催者により、小学生向けのランニング教室が開催されたもの。

ア 開催日時:令和7年2月15日(土)10:00～11:30(受付開始9:30)

イ 会場:京都市武道センター

ウ 参加者数:21人(定員30人)

(2) スポーツ講座/マラソン講座・ランニング講座

公益財団法人京都市スポーツ協会と連携し、ランニング初心者の方やフルマラソンに挑戦しようとする方を対象に、たけびしスタジアム京都を会場に以下のとおり開催

講座① 開催日時:令和6年8月2日(火)19:00～20:30

参加者数:75人(定員100人)

講師:福士 加代子氏(京都マラソン2025特別ゲストランナー)

講座② 開催日時:令和7年1月13日(月・祝)13:00～15:00

参加者数:78人(定員100人)

講師:千葉 真子氏(京都マラソン2025応援大使)

## 【 2026 大会実施の概要 】

### 1 大会実施要項

大会名称	京都マラソン 2026（英文名：KYOTO MARATHON 2026）						
メインコンセプト	「DO YOU KYOTO?マラソン」「みんなが主役」						
趣 旨	1 市民スポーツの振興 2 京都の魅力を国内外に発信 3 京都・日本の活性化						
主 催	京都市、一般財団法人京都陸上競技協会						
共 催	京都市体育振興会連合会、京都新聞、KBS 京都、α-STATION						
企画・運営	京都マラソン実行委員会						
主 管	一般財団法人京都陸上競技協会						
運営協力	京都障害者スポーツ振興会、京都市スポーツ推進委員会、一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都私立病院協会、地方独立行政法人京都市立病院機構、公益社団法人京都府看護協会、京都府救急救命士会、京都橘大学、明治国際医療大学、京都市地域女性連合会、京都ランニング連合会（予定）						
後 援	AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）、公益財団法人日本陸上競技連盟、スポーツ庁、観光庁、京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、公益財団法人京都市スポーツ協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、公益社団法人京都市観光協会、京都商店連盟、NHK 京都放送局、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、共同通信社京都支局、時事通信社京都総局、J:COM 京都みやびじょん（予定）						
種 目	1 マラソン（42.195 km） 2 ペア駅伝（1区 27.6 km、2区 14.6 km） 3 車いす競技（6.1 km）						
開催日時	令和 8（2026）年 2 月 15 日（日） <table style="border: none; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">8:55</td> <td>車いす競技スタート</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">9:00</td> <td>マラソン・ペア駅伝スタート</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">15:00</td> <td>マラソン・ペア駅伝終了</td> </tr> </table>	8:55	車いす競技スタート	9:00	マラソン・ペア駅伝スタート	15:00	マラソン・ペア駅伝終了
8:55	車いす競技スタート						
9:00	マラソン・ペア駅伝スタート						
15:00	マラソン・ペア駅伝終了						
定 員	1 マラソン 16,000 名 2 ペア駅伝 250 組 500 名 3 車いす競技 20 名 ※主催者が推薦する競技者等を含む						
制限時間	マラソン・ペア駅伝 6 時間 ※制限時間の基準：号砲						
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 スタート（西京極総合運動公園）、フィニッシュ（平安神宮前） ※日本陸上競技連盟、ワールドアスレティックス及び AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）公認コース ※ペア駅伝は府立植物園内を中継点とする。 2 車いす競技 スタート（西京極総合運動公園）、フィニッシュ（嵐山）						

時間制限関門	交通・警備、競技運営上、時間制限関門を設ける。 関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させることができる。
競技規則	2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
表彰	1 マラソン (1) 総合男女 各1位～20位 (2) 総合年代別男女(5歳刻み) 各1位～3位 (3) 京トップ8 <sup>みやこ</sup> 京都市民の男女各1位～8位 ※(1)の9位以下及び(2)(3)は、表彰式を行わず賞状は後日送付とする。(予定) ※ペア駅伝の表彰は行わない。 2 車いす競技 1位～3位
参加資格	1 マラソン・ペア駅伝 ※車いすでの参加は不可 (1) 平成19(2007)年4月1日以前に生まれた方 (2) 6時間以内に完走できる方 2 車いす競技 身体障害者福祉法(昭和24年法律283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた車いすの使用者(令和8年2月15日現在)で、京都障害者スポーツ振興会が推薦し、主催者が認めた方
参加申込	インターネットにより受け付ける。 ※定員を超えた場合は抽選を行う。
参加料	1 マラソン 国内(市内) 18,500円 国内(市外) 19,500円 海外 35,000円 2 ペア駅伝(1組2名) 34,000円 3 車いす競技 3,000円
ランナー受付	日程: 令和8年2月13日(金)、14日(土) ※大会当日(2月15日)の受付は原則行わない。 ※受付時に身分証明書等による本人確認を行う(代理受付不可)。 会場: 京都市勧業館「みやこめっせ」
その他	1 出走は、大会参加申込者本人に限る(代理出走の禁止)。 2 仮装して参加することは認めない。また、大会会場及びコース上において、会社名、商品名等を意味する図案及び商標等の広告的なものを身に着けたり、表示することを認めない。 3 京都市スポーツ振興基金への寄付金を任意で受け付ける(一口1,000円)。

## 2 ランナー募集要項(骨子)

### (1) 募集期間

令和7年7月17日(木)～9月1日(月)

### (2) 募集枠

ア マラソン・ペア駅伝(定員:マラソン16,000人、ペア駅伝250組500人)

(ア) 京都市民枠(マラソン1,600人、ペア駅伝80組160人)

(イ) ふるさと納税枠(先着:マラソン760人、ペア駅伝20組40人)

(ウ) 海外ランナー枠(先着:4,000人)

イ 車いす競技(定員:20人)

※上記(ア)の優先枠に落選した方は自動的に一般枠の抽選に回る。

※上記(イ)、(ウ)は先着

### (3) 参加料

種目	2026大会
マラソン(国内)市内	18,500円
マラソン(国内)市外	19,500円
マラソン(海外)	35,000円
ペア駅伝	34,000円
車いす競技	3,000円

### 3 「京都マラソン 2026」大会実施要項及びランナー募集要項骨子に係る 2025 大会からの主な変更点

#### (1) 参加料（大会実施要項）

- ・ 受益者（ランナー）負担の更なる適正化のため、大会参加料を増額する。  
※車いす競技を除く
- ・ 事業目的（市民スポーツの振興）を踏まえ、市民と市民以外で価格差を設ける。

種目	2026	前回（2025）	差額
マラソン（国内）市内	18,500 円	17,500 円	+1,000 円
マラソン（国内）市外	19,500 円		+2,000 円
マラソン（海外）	35,000 円	30,000 円	+5,000 円
ペア駅伝	34,000 円	30,000 円	+4,000 円
車いす競技	3,000 円	3,000 円	±0 円

#### (2) オンラインマラソン（大会実施要項）

- ・ 他大会の動向や本大会における参加者数の減少傾向等を踏まえ、実施を取り止める。

#### (3) 募集枠【抽選】（募集要項）

- ・ 「京都市民枠」を増員し、市民の参加機会の拡大を図る。
- ・ 募集枠をわかり易くするとともに、走力に関わらずどなたにも参加いただけるよう、「ボランティア経験者枠」及び「サブ 3.5・サブ 4 応援枠」を廃止する。

募集枠	種目	2026	前回（2025）	増減数
京都市民枠	マラソン	1,600 人	1,200 人	400 人増
	ペア駅伝	80 組 160 人	60 組 120 人	20 組 40 人増
ボランティア経験者枠	マラソン	廃止	100 人	100 人減
サブ 3.5・サブ 4 応援枠	マラソン	廃止	600 人	600 人減

#### (4) 募集枠【先着】（募集要項）

##### ア ふるさと納税枠（定員 800 名）

実績を踏まえ、マラソンとペア駅伝の定員の内訳を変更する。

種目	納税額	2026	前回（2025）	増減数
マラソン	10 万円	760 人	780 人	20 名減
ペア駅伝	20 万円	20 組 40 人	10 組 20 人	10 組 20 名増
合計	—	800 人	800 人	—

##### イ 海外ランナー枠

京都の魅力を更に国外へ発信すること等を目的に、海外ランナー定員を増員する。

種目	2026	前回（2025）	増減数
マラソン	4,000 人	2,000 人	2,000 人増